

AMR 臨床リファレンスセンターによるノルウェー公衆衛生研究所への ATC/DDD 申請請負について

ATC 分類 (Anatomical Therapeutic Chemical Classification System) とは、WHO が提唱している医薬品の分類方法です。各医薬品は効果をもたらす部位・器官および作用・化学的特徴によって5つの階層からなるグループに分けられています。(たとえば、セファゾリンの ATC は J01DB04 であり、J が抗微生物薬であることを、J01 が抗菌薬であることを、J01D がペニシリン以外のベータラクタム薬であることを、J01DB が第 1 世代セファロスポリンであることを、J01DB04 がセファゾリンであることを示しています) また、DDD (Defined Daily Dose) は、WHO が定義している医薬品の主な適応症に対する成人の 1 日仮想平均維持量です (たとえば、セファゾリンの DDD は 3g です)。

ATC/DDD は WHO の協力センターであるノルウェー公衆衛生研究所が管理しており、年 2 回、国際会議により新規に承認された薬剤や、まだ ATC や DDD が設定されていない薬剤に対して、ATC 分類や DDD の検討が行われます。検討された結果は、各年 1 月 1 日に反映されます。

AMR 臨床リファレンスセンターでは、過去、主に国内やアジア地域などで限定的に販売されている抗微生物薬などについて、ノルウェー公衆衛生研究所に新たな ATC 分類や DDD の付与を依頼してきました。

みなさまの中で、抗微生物薬について新たに ATC/DDD を申請したい薬剤などがございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

ATC/DDD 申請請負窓口：

AMR 臨床リファレンスセンター 薬剤疫学室

主任研究員：小泉龍士 [rykoizumi@hosp.ncgm.go.jp](mailto:rykoizumi@hosp.ncgm.go.jp)